



企画番号：33

企画タイトル：龍大初（学生初）の環境報告書を作成



プロジェクトリサーチ No.33

龍大初（学生発）の環境報告書を作成

Y200627 柳佑季

Y200620 森川竣介

Y200607 藤田健太郎

概要

・目的

国公立大学は、環境報告書の作成が法律により義務づけられているが、私立大学は義務づけられておらず、龍谷大学も作成していない。

そこで、龍谷大学初の環境報告書を作成し、龍谷大学の環境配慮の更なる向上、エコキャンパスの推進にもつながると考えた。

また、学生が作成することから、大学の取り組みとして不十分だと感じる場所も盛り込むことを目的とした。

・計画

10 ページ程度の環境報告書を作成し、各種データは大学のより入手して作成し、本学の環境への取り組みに対する学生目線からの意見も最後に添える。

・作成方法

他大学の公表している環境報告書を閲覧した。大学の電力使用量・ガス使用量・コピー用紙使用量等を調べた。学生同士で本学の環境への配慮が足りていない部分はどこなのか話し合い、改善点について考え、作成した。

・活動経過

6月中旬～下旬に、他大学の環境報告書調査をした。

7月～8月上旬に、項目、必要データ等作成するうえで必要な要素についての検討をした。

8月中旬～8月下旬に、作成する担当を決め、それぞれで資料作成をした。

9月1日以降は、それぞれの担当箇所について資料修正をした。

11月4日には、学長室訪問をした。

活動報告書

・目的

国公立大学は、環境報告書の作成が法律により義務づけられているが、私立大学は義務づけられておらず、龍谷大学も作成していない。しかし、一部の私立大学では作成しているところもあり、本学がすでに実施している取り組みやソーラー発電など、アピールできるエコな点は数多くあるので、作成し公表すべきだと思った。

環境報告書とは、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」で規定される特定事業者が作成して、毎年度公表することが求められている団体の【環境の顔】でもある。

そこで、龍谷大学初の環境報告書を作成してみることにした。作成中には、これまで知らなかった環境負荷や環境配慮に気づくことができたり、その量を把握したり他大学と比較するなどして社会的インパクトを定量的に理解できる。環境報告書の作成後は、成果物が龍大構成員にSDGsマインドを広める際に活用できると考え、大学関係者が内部活用することで、環境報告書の目的でもあるが、龍谷大学の環境配慮の更なる向上、エコキャンパスの推進にもつながると考えた。

また、学生が作成することから、大学の取り組みとして不十分だと感じるころも盛り込むことで、龍谷大学の将来的なエネルギー使用量の削減や環境問題への更なる取り組みに結びつけることを目的とした。

・計画

10ページ程度の環境報告書を作成し、他大学の環境報告書と比較しても十分なほどのデータ量と内容とした。

各種データは大学のより入手して作成する。

また、本学の環境への取り組みに対する学生目線からの意見も最後に添えることを目標とした。

・作成方法

①：他大学の公表している環境報告書を閲覧し、環境報告書とはどのようなものなのかを調べ、どのようなデータが必要か学んだ。

例 : <https://www.waseda.jp/top/about/work/organizations/general-affairs/environment/reports>
<https://www.kansai-u.ac.jp/energy/report/index.html>
<https://www.hosei.ac.jp/kankyokenshou/communications/hakusho/?auth=9abbb458a78210eb174f4bdd385bcf54>
<https://www.janu.jp/univ/envreport/>

②：龍谷大学の電力使用量・ガス使用量・コピー用紙使用量等を本校ホームページで調べた。必要なものはアドバイザー教員を通じて本学事務に問い合わせた。また、学生同士で本学の環境への配慮が足りていない部分はどこなのか話し合い、改善点について考えた。

[環境・エネルギーへの取り組み | 龍谷大学 You, Unlimited \(ryukoku.ac.jp\)](#)

③：①②を踏まえ、実際に作成した。